

# 2月のささやまっこだより

令和5年2月1日  
篠山保育園  
園長 足立善一郎



先月は、氷点下の厳しい寒さが続きました。保育園の水道管破裂も心配しましたが、対策を施し無事に乗り切ることができました。

子どもたちは、園庭に積もった雪に大興奮！さむさ、冷たさも何のその。雪合戦や小さな雪だるま

を作って楽しんでいました。

さて、今子どもたちは生活発表会にむけて活動が盛り上がってきています。もも、ふじ、ばら組さんは、自分たちだけで楽しむことから、それを人に観てもらいたという段階に入ってきています。先日、劇の練習を見に来てほしいと声がかかり、保育室に近づくと「誰もいないのかな」と思うほど静かで、保育室をのぞくとすでに準備万端！役になりきり配置についていました。子どもたちの表情も様々。張り切っている顔、緊張で顔が少々こわばっている顔、はずかしさで下向き加減の顔とその子らしさがでていました。これから更に生活発表会に向けて、一人ひとりが自分の課題を乗り越えて成長していくことを期待します。



すみれ、たんぽぽ、さくら組さんは生活発表会という場はありませんが、毎日の保育の中でお話の世界を楽しんでいるようです。保護者の皆さんには動画を見て、クラスの雰囲気を楽しんでいただければと思っています。



先月末、たんぽぽ組保育室の様態替えをしました。子どもたちの成長や遊び方の様子を見ながら、パーテーションやおもちゃ棚などの配置を変えました。同じおもちゃでも周りの環境が変わるだけで、新鮮な感覚で遊ぶことができます。今回はそこに小さなキッチンを2台設置しました。おうちの方が料理をしている様子を見ている子は、まねをして「ジャージャー」お料理をしているようでした。



## 2月の行事予定表

- 3日(金) 豆まき(3才以上)
- 9日(木) リハーサル(もも、ふじ、ばら組:9時迄の登園)
- 14日(火) すみれ、たんぽぽ、さくら組録画予定
- 15日(水) 卒園記念集合撮影(ばら組)
- 17日(金) 生活発表会準備(早めにお迎えいただくと助かります)
- 18日(土) 生活発表会(もも、ふじ、ばら組)、園内研究会
- 21日(火) 避難訓練
- 24日(金) 誕生日



13日、27日…えいごであそぼう(ばら組)  
6日、20日…えいごであそぼう(ふじ組)

## 3月の行事予定表

- 3日(金) ひな祭りお茶会(ふじ、ばら組)
- 8日(水) 誕生日
- 10日(金) 卒園式リハーサル
- 15日(水) お別れ会
- 19日(日) 第45回卒園式
- 23日(木) 避難訓練
- 25日(土) 第46回入園式、園内研究会
- 31日(金) 新年度準備



25日は、家庭保育にご協力ください。

通常保育ですが、ご都合のつかれる方は、早めのお迎えにご協力ください。(午後4時以降)

13日…えいごであそぼう(ばら組)  
6日…えいごであそぼう(ふじ組)



**車上荒らしにご注意ください** 気を許したすきを狙ってきます。特に路上駐車をされた場合、ドアロックは必須です!

**お知らせ** 田中遥奈保育士が、2月21日から復帰します。たんぽぽ組を担当します。よろしくお願いいたします。

## ばら組「ひとりお当番さん」がんばっています

ばら組さんは、1年の後半になると“ひとりお当番さん”という活動が始まります。6つのグループのリーダーからその日の“ひとりお当番さん”が1人選ばれ全体のまとめ役になり、担任の補助的な仕事をします。“朝のお集まりの時の出欠調べをしそれを担任に伝える”、“園長のところに配布する手紙を取りに行く”、“外遊びから室内に入る声かけをする”などなど、責任をもって取り組んでいるようです。

これらの仕事をやり遂げた帰りの会では、充実感に溢れていることだと思います。担任や友だちに頼られ、自分が必要にされているんだという事を感じることができる活動です。困ったときに



は、みんながフォローしてくれ、これはお互い様なので、友だちも自分のことのように考えてくれます。

## 「お友だちと自分を比べてうらやましがるんです」(5歳児)

・行動の意味…この年ごろの“くせ”のようなもの

「Aちゃんには妹がいていいなあ」

「Bちゃんは△△を持っているんだって」など、

自分と友だちを比較して考えるようになります。一過性のくせのようなものなので、気にする必要はありませんが、

「〇〇ちゃんにも、こんなに素敵などころがあるじゃない」と、いいところを認めてあげるひと事を!

・対応法…気持ちを推しはかり、考えを伝える

時には「何でそれがいいの?」と、気持ちを聞いてみることも必要かもしれません。

「そんなことないでしょ」と否定せず、聞いたうえで親の考えを伝えます。

たくさんいろいろなものを持っていることが大事ではなく、家庭ごとにその子どもにふさわしいものを持っているという、親の考えがあることをわからせましょう。

「そんなに欲しいなら、誕生日まで待てる?」と、本当に欲しいものかを見極め、待たせることも大切です。

「0歳児から5歳児行動の意味とその対応」今井和子著